

東久留米市立南中学校 第3学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	・全体的に学習意欲が高く、自分の言葉で考え表現することができる。発表には消極的である。	・発問の工夫。 ・集団の中で発表することの意義について指導。 ・他者の発表を聴く機会を増やす。	◎論旨、姿勢、について評価。 ○生徒同士の話し合いの機会を持つ。 ○1回の授業で10名以上の発言を促す。
社会	・権利や法律に関わる用語を間違えて覚えている生徒が多く見られる。	・用語を模式図や一覧表にして表わす活動ができるだけ多く取り入れる。	○模式図や一覧表で表わす作業を取り入れた授業を実施する。（2学期3回以上）
数学	・基本的な計算力の定着に差が見られ、関数のグラフを含む複合問題に対して苦手意識をもっている生徒が多い。	・基本事項と関数や図形を含む振り返りプリントを日々活用し、既習事項の定着を図る。	●計算確認テストを2週間に1回～2回実施し、正答率70%を目指す。
理科	・1、2年の学習内容が定着していない生徒がみられる。	・ワークシート、問題集などを活用し、1、2年の学習内容を復習する授業を行う。	○1、2年の学習内容に関する小テストを行い、正答率60%以上を目指す。
音楽	・音楽から感じ取ったことを言葉にして話したり、文章にしたりする力（作文力）に個人差がある。	・発問やワークシートを工夫するとともに、ペアやグループでの対話や、学級全体で学習活動を共有しながら授業を組み立てていく。	○表現活動に思いや意図をもち、すすんで音楽の良さを味わい、楽しむことができる生徒50%以上を目指す。
美術	・丁寧に作品に取り組むことに、個人差が大きく見られる。	・道具の使用法を繰り返し指導し、定着を図る。 ・作業状況の確認をこまめに行う。	○道具の使い方の説明、作業開始後15分の机間指導で全員の作業状況を確認（2学期4回）
保健体育	・運動の合理的な体の動かし方や生活のために必要な知識を身に付け、実践する力に未熟な部分がある。	・運動の特性等を学習カードやワークシートにまとめ、視覚教材を活用して実践することをペア学習やグループ学習で学ばせる。	○学習カードの記入状況や評価テストを実施して検証し、運動の特性を概ね理解できた生徒が、80%を越えることを目指す。
技術	・作業にほとんどの生徒が興味をもつが、PCの操作方法を理解できていない生徒も多く、技能的には十分ではない。	・授業時数が少なため、ポイントを分かりやすくまとめたプリントを用意し、完成度を高める。	○作品が未完成で終わる生徒をゼロにし、全員が満足できる作品に仕上げることを目指す。
家庭	・問題解決に向け、一生懸命考える生徒が多い半面、意見を発表することに苦手意識をもっている生徒も多い。	・生活の中で、問題を発見し解決方法を提案し生活をよりよくするために、レポート、発表を取り入れている。	○各自生活の中での課題を見つけレポート提出、概ね良好のB評価の生徒80%以上。

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・会話を続けようとする姿勢はあるが、書くことを苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに文法を学んだ際にはそれを活用した英作文に取り組ませる。また、既習事項に関する英作文テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英作文プリントや小テストで、60%以上の生徒が8割取ることを目指す。
特別の道徳教	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して、自らの考えを表現することが苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの活用やグループ活動など通して、自分の考えを表現する機会を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートや授業観察で評価する。80%以上の生徒が自分の考えを表現できることを目指す。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の生徒は、グループ内の話し合いに消極的な部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合という時間の中で、何のために行うのか目的意識をもたせる。 ・新聞作成や発表では、見る人、聞く人を意識したまとめになるよう、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全員の生徒が、まとめや発表ができる活動場面を取り入れる。